

主題：神の家また神の都としての召会を建造するための 主の回復の内在的な意義

メッセージ 10

エズラの務め——教育

聖書：エズラ 7:6, 11-12, 21. ネヘミヤ 8:1-13. 12:26

I. わたしたちは今日の主の回復の中で、きよめる働きを行ない、神の民を教育することによって神聖な真理で構成するエズラを必要とします。それは、彼らが地上で神の証し、神の団体の表現となるためです——ネヘミヤ 8:1-8, 13. II テモテ 2:2, 15. I テモテ 3:15：

- A. エズラは祭司であり、また学者でもあって、神の律法に精通した人でした。そのような人として、エズラには必要に応じる能力がありました——エズラ 7:6, 11-12, 21：
1. 祭司とは、主とミングリングされ、主に浸透された人です。エズラはこのような人でした—— 8:21-23。
 2. エズラは、神に信頼し、神と一であり、神の言葉に精通し、神の心、神の願い、神のエコノミーを知った人でした—— 7:27-28. 10:1。
 3. エズラは絶えず主と接触することによって主と一でした。ですから、彼は文字の学者ではなく、祭司の学者でした——ネヘミヤ 8:1-2, 8-9, 11-12. 12:26。
- B. エズラは何も新しいものを語りませんでした。彼が語ったものは、モーセによってすでに語られていたものでした——エズラ 7:6. ネヘミヤ 8:14。
- C. 祭司とレビ人は学者エズラのもとに集められました。それは律法の中に入る見識を得るためでした。ネヘミヤ第 8 章 13 節の「見識」は、内在的な意義を把握することを指しています。

II. 主の回復の中でわたしたちはエズラたちを必要とします。彼は祭司の教える者であって、神と接触し、神に浸透され、神と一であり、神に満たされ、神の言葉に精通しています。これが、主の回復の中で教える者となる資格のある人です——マタイ 13:52.

II コリント 3:5-6. I テモテ 2:7. II テモテ 1:11：

- A. 主イエスは彼の務めの中で、「村々を巡回して教えられ」ました——マルコ 6:6：
1. 人が罪へと墮落したことは、神との交わりを破壊し、すべての人を神の知識に対して無知にし、そのような無知は暗やみと死という結果になりました。
 2. 世の光としての主は大いなる光として来て、死の影の中に座っている人たちを照らしました——ヨハネ 8:12. マタイ 4:12-16。
 3. 主の教えは光の言葉を解き放ち、暗やみと死の中にいる人は命の光を受けました——ヨハネ 1:4。
 4. 主イエスは、墮落した人への奉仕の中で、そのような教えを遂行し、人々をサタンの暗やみから神聖な光の中にもたらしめました——参照、使徒 26:18。
- B. 教えは、実は神聖な啓示にほかなりません。ですから、教えは啓示と等しく、啓示はおおいを開くことです—— I テモテ 2:7. エペソ 3:9：

1. 聖書が教えのために益になるとは、それがおおいを除き、おおいを取り去ることに益があることを意味します——Ⅱテモテ 3:16。
2. 教えるとはおおいを取り去ることです。わたしたちは人を教える時、おおいを取り除いて、彼らが三一の神について何かを見るようにすべきです。
3. わたしたちが召会の集会で何かを語る時、わたしたちの語ることはおおいを取り去ることであるべきです。これは、わたしたちの教えが啓示を提示すべきであることを意味します——Ⅰテモテ 4:6, 11, 16。

Ⅲ. わたしたちが応じなければならない最大の必要は、主の回復にある聖徒たちを真理の中にもたらし、回復を遂行することです——Ⅰテモテ 2:4. Ⅱテモテ 2:2, 15:

- A. 主の回復は、真理の光の回復です——ヨハネ 8:12, 32:
 1. 主の回復は、聖書の中にある失われたすべての真理の回復です——Ⅱペテロ 1:12。
 2. 主の回復には最高の真理があります。回復の中では、真理の光は最新のものです。
 3. 回復の中の真理は、過去二十世紀の真理の究極的完成です——Ⅱテモテ 2:2。
- B. キリスト教が墮落したのは、それが真理を失い、命に欠けているからです。真理と命はいずれもキリストご自身です——ヨハネ 14:6:
 1. 真理は外側の定義と説明であり、命は内側の内在的な要素です——コロサイ 1:5. 3:4。
 2. キリストはわたしたちの命としてわたしたちの中にいますが、命の経験は説明を必要とします。この説明が真理です。
 3. キリストをわたしたちの命として経験するためには、真理を知らなければなりません。もし真理を知らないなら、キリストをわたしたちの命として享受する道はありません。
 4. 命と真理によって、パウロはテモテを励まして、召会の衰退に対して彼を予防接種しました——Ⅱテモテ 1:1, 10. 2:15, 25。
- C. 真理で構成されることは、真理をわたしたちの中に造り込ませて、わたしたちの構成要素、内在的な存在、有機的な構成とならせることです——Ⅱヨハネ 2 節:
 1. 神聖な啓示の内在的な要素は、わたしたちの中に造り込まれ、構成し込まれなければなりません——コロサイ 3:16。
 2. いったん真理がわたしたちの理解を通してわたしたちの中に入り込むなら、それはわたしたちの記憶にとどまります。そして、わたしたちは真理を記憶にとどめ、それによってわたしたちは真理の蓄積を持ちます——Ⅰペテロ 1:13. Ⅱペテロ 1:15. 3:1。
 3. 真理はわたしたちの記憶の中に入り込んだ後、継続的で長期的な養いとなります。そしてわたしたちは真理の蓄積を持ち、絶えず継続的な養いの下にあります——コロサイ 3:16, 4. Ⅰテモテ 4:6。

Ⅳ. わたしたちはみな、ライフスタディとフットノート付きの回復訳を通して助けを受け、聖書の言葉の内在的な意義を見る必要があります——ネヘミヤ 8:8, 13。

ライフスタディとフットノートを用いること

長老訓練第3巻「ビジョンを遂行する道」からの抜粋

務めの中であなたがたに提示してきたものはすべて、「開くもの」にすぎません。(43 ページ)

わたしたちのうちでライフスタディのメッセージを読んだ人たちは証しすることができますが、これらのライフスタディと、回復訳とフットノートのすべては、わたしたちがそれらに触れる時はいつも、わたしたちに聖書を開くのです。ライフスタディと回復訳はわたしたちに供給を与えるだけでなく、それらは開くものとなるのです。(73 ページ)

このようなビジョン（手順を経た三一の神がご自身を、彼の贖われた、三部分から成る人の中へと分与して、この人を命の人とすること）がなければ、ローマ人への手紙第8章はあなたに隠されており、閉ざされています。しかしながら、いったんあなたがそのようなビジョンを受けたなら、あなたは養いを受けるだけでなく、照らしを受けるでしょう。あなたは、ローマ人への手紙第8章を開くかぎを受けます。……これはローマ人への手紙第8章をライフスタディのメッセージと置き換えることではありません。そうではなく、それはライフスタディのメッセージから助けを受けて、ローマ人への手紙第8章に入り込むことです。(73-74 ページ)

わたしは負担を取り上げて、回復訳のために解説の注釈を書き、追い求める聖徒たちに新約聖書の各書を開きました。……わたしはさらに掘りたいし、今もなお掘り続けています。しかし、わたしはそんなに多く掘ることはできないと思います。ですからわたしは、さらに掘り進める事をあなたがたに残しています。(128 ページ)

基本的な真理はわたしたちに提示されています。また多くの命の養いは、特にライフスタディのメッセージで出版されています。また、障害となっていたものもほとんど取り去られています。わたしたちの学びには今、明瞭な道があり、すべての書はわたしたちに開かれています。採掘することで最も困難なことは鉱脈を開くことです。いったん鉱脈が開かれると、宝が現れるので、その宝を掘り出すことは容易です。わたしは、さらに掘り進めるというこの一つの事だけをあなたがたに残しました。主はこの掘り進める働きを、あなたがたを通して、あるいはだれか他の人たちを通して続けられることを、わたしは信じています。一定の期間の後、あなたがたの多くは「上手に掘る人」になると、わたしは信じています。ライフスタディのメッセージをわたしたちが出版する意図と目的は、鉱脈を開いて、あなたがたがその中に入って掘るようになることです。(128-129 ページ)

わたしは多くのものを出版しましたが、その中に入り込むためにあなたがたは何年も費

やす必要があります。(135 ページ)

わたしたちはライフスタディを用いる以外に選択はないと、わたしは感じます。なぜなら、これが人々を聖なる御言葉の中にもたらす最上の道であることを、わたしたちは認識しているからです。(142 ページ)

多くの人は聖書を持っていますが、聖書は閉ざされており、ほとんど開かれたことはありません。今や主はわたしたちに、かぎ、開くものを与えてくださいました。わたしたちの書物は聖なる御言葉を開くものであると、わたしは考えています。あなたがたのうちでライフスタディのメッセージを読んだ人たちは、これらのメッセージと回復訳のフットノートが聖書のある章、ある書をあなたがたに開いたことを正直に証しすることができると、わたしは信じています。これは聖書に置き換わるのではなく、人々を聖書の中へともたらすことです。(143 ページ)

真理は、ほかでもなく聖書の中にあります。しかし、聖書は開くものを必要とします。わたしたちは聖徒たちを導いて、聖書が必要であることと、ライフスタディのメッセージと回復訳が助けになることについて、実際の正しい適切な認識へともたらす必要があります。(149 ページ)

これまでのわたしたちの実行によれば、わたしたちの手には聖なる御言葉があり、主のあわれみによって主はわたしたちに出版物を与えてくださり、それは常に御言を開きます。なぜあなたはこれを使おうとしないのでしょうか？ わたしたちはこれら二つのもの、すなわち御言と「それを開くもの」を用いて、備えをする必要があります。(165 ページ)

わたしが提案することは、あなたがたが開くもの、助けを用いて聖書を学ぶことです。ライフスタディのメッセージについて経験のあるわたしたちのすべては、それらが最上の助けであることを知っています。それらは、わたしたちすべてに新約聖書を開く最も便利で有力なかぎです。(201-202 ページ)